

3Dプリンティングなど革新的な技術と産業変革に関する懇談会を実施

開催日：2018年9月21日(金)

場所：経団連会館

来賓：ジョン・フラナリー ゼネラル・エレクトリック(GE)会長 兼 CEO

経済広報センターでは、わが国経済界の対外発信強化と相互理解の促進を目指し、主要国企業関係者との懇談会を随時開催している。このたび、米国企業ゼネラル・エレクトリック(GE)のジョン・フラナリー会長兼CEO(当時)が来日した機をとらえて、9月21日、東京・大手町の経団連会館で「製造業を取り巻く革新的な技術と産業変革」をテーマに懇談会を開催。経団連会員企業関係者ら27名が出席し、活発な質疑応答が交わされた。

冒頭、フラナリー会長が、同社と日本企業との関わりや、今年6月に発表された新たな事業ポートフォリオ、同社が注目している3Dプリンティングの将来性などについて説明した。

続く質疑応答では、出席者から、事業ポートフォリオを見直すうえでの日本企業へのアドバイス、コングロマリット(複合企業)のあるべき姿とメリット、3Dプリンティングの新たなビジネスモデルの可能性など、所定のテーマにとどまらない幅広い質問が出た。

これに対しフラナリー会長からは、「事業ポートフォリオや各事業への資本配分は業界の変化や自社の競争優位性を踏まえながら絶えず見直さなければならない」「コングロマリットのメリットとしては、個々の事業にある技術やベストプラクティスの共有、複数の異なるビジネスを経験させることによる人材の育成などが挙げられる」「3Dプリンティングは、他国と比較して日本での認知度は低いですが、極めて画期的でポテンシャルの高い技術である」といった趣旨の回答があった。

以上



フラナリー会長兼CEO(当時)